

新人看護職員研修年間計画

年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>□看護専門職としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する。</p> <p>□身体的・心理的・社会的側面から患者のニーズを把握できる。</p> <p>□基本的看護技術を習得し、実施できる。</p> <p>□医療事故防止に努め、患者の安全を守ることができる。</p> <p>□チーム医療の一員であることを理解し行動できる。</p>	<p>□病院の設備、構造がわかる</p> <p>□3階病棟の位置、設備、構造がわかる</p> <p>□病棟の特殊性がわかる</p> <p>□職場に慣れることができる</p> <p>□3階病棟の1日の流れ、日勤業務内容がわかる</p> <p>□基礎的な看護技術ができる</p> <p>□医療機器、看護用具の操作が理解できる</p> <p>□3階病棟の患者の特徴を知る</p> <p>□助言を受けながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VS測定・一般状態の観察・看護記録ができる</li> <li>・リーダーに報告ができる</li> </ul> <p>○プリセプターと共に「技術マニュアル」に沿って基礎的看護技術を学ぶ</p> <p>○技術マニュアル表を活用し技術評価を行う</p> <p>○プリセプターと共に1～4人の患者を受け持ち、病棟の1日の流れを知る</p> <p>○受け持ち患者を持つことで、電子カルテの使い方を学ぶ</p> <p>ジェネレーションギャップを感じる時期なので、病棟に慣れることが最優先。</p> <p>電子カルテから患者情報を確認できる、看護記録が入力できる。受け持ち患者の展開より、電子カルテの使い方指導を優先。</p> <p>又、基礎的看護技術のできない事を優先し指導する。</p>	<p>□複数の患者を受け持ち、指導を受けながら看護の実践ができる</p> <p>□VS測定・一般状態の観察・看護記録ができる</p> <p>□リーダーへの報告ができる</p> <p>□看護計画に沿って安全に業務を行うことができる</p> <p>□患者の安全を考慮し、ケアの提供ができる</p> <p>□検査を理解し、準備、介助、実施ができる</p> <p>□病棟の物品、備品の管理、請求方法がわかる</p> <p>□薬品の種類、薬効がわかり、正しい取り扱いができる</p> <p>□他部署の位置や連絡手段を理解できる</p> <p>□未経験の看護技術については、積極的に見学や実施するなどして技術の習得に努める</p> <p>□早番・遅番業務内容がわかる</p> <p>□指導のもと早番業務ができる</p> <p>□入退院患者対応がわかる（見学）</p> <p>□手術患者の対応がわかる（見学）</p> <p>□転棟対応がわかる（見学）</p> <p>○指導者と共に2～4人の患者を受け持つ。基礎的看護技術の確認</p> <p>○早番勤務の経験。</p>	<p>□複数の患者を受け持ち、看護の実践ができる</p> <p>□VS測定・一般状態の観察・看護記録ができる</p> <p>□リーダーへの報告ができる</p> <p>□看護計画に沿って安全に業務を行うことができる</p> <p>□患者の安全を考慮し、ケアの提供ができる</p> <p>□異常の早期発見・報告ができる</p> <p>□指導のもと早番業務ができる</p> <p>□指導のもと入退院患者対応ができる</p> <p>□指導のもと手術患者の対応ができる</p> <p>□指導のもと転棟対応ができる</p> <p>○プリセプターと共に、プライマリーの役割を考える</p> <p>○入院対応見学・指導を受ける</p> <p>○チームの役割（報告、声掛けの方法など）を考えられるよう導く</p> <p>ローテーション研修</p> <p>□病院の雰囲気を知る・慣れる</p> <p>□早期に職場適応できる</p> <p>□各部署の特徴や1日の流れを知ることができる</p> <p>□各部署の患者の特徴を知ることができる</p>	<p>□急変時の看護処置ができる</p> <p>□早番業務ができる</p> <p>□入退院患者対応ができる</p> <p>□手術患者の対応ができる</p> <p>□転棟対応ができる</p> <p>□助言を受けながら、看護計画の初期プランを立案し、疾患、症状に応じた看護過程の展開が出来る</p> <p>□チームメンバーとしての役割が果たせる</p> <p>□特殊検査の目的、方法を理解し、準備、介助、観察が出来る</p> <p>□夜勤業務を見学し、夜勤の流れがわかる</p> <p>□災害発生時の対処方法がわかる</p> <p>○4人の患者を受け持ち、自ら1日のスケジュールを組み立てることができる。</p> <p>指導者は、必ず見守り、助言する。一人立ちではない。</p> <p>○夜勤経験。</p> <p>○早番一人立ちとするが見守りは必要。</p> <p>○手術患者対応見学・実施</p> <p>※入退院、転棟、手術看護が対応できるように指導</p>		<p>□指導のもと、夜勤業務ができる</p> <p>○夜勤で数人の部屋もちを経験。</p>	<p>□チームの一員として、リーダーの指示のもと自ら考えて行動できる</p> <p>□夜勤業務ができる</p> <p>□患者指導の必要性を理解し、指導することができる</p> <p>□プライマリー患者を受け持ち、入院～退院まで看護の展開ができる</p> <p>□指導のもと、転棟、退院サマリーを記入することができる</p>	<p>□年間目標を基に自分の看護を振り返る</p>				<p>□チームリーダーの役割を知る</p>
勤務	【日勤：プリセプターと共に実施】	【日勤：指導を受けながら部屋持ち】 【早番：見学】	【日勤：指導を受けながら部屋持ち・入退院・手術患者対応】 【早番：プリセプターと共に指導を受けながら実施】	7・8月 【日勤：チームメンバーと共に一人で業務が組み立てられる】 【早番：独り立ち夜勤者からの助言を受ける】 【夜勤：プリセプターの指導を受けながら外周りを経験する2回/月】 日勤一人立ち】		【日勤：チームメンバーと共に一人で業務が組み立てられる】 【早番：独り立ち、夜勤者からの助言を受ける】 【夜勤：プリセプターの指導を受けながら外周りを経験する2回/月】	【日勤：プライマリー患者の展開ができる】 【早番：独り立ち、夜勤者からの助言を受ける】 【夜勤：部屋持ち、独り立ちに向けてプリセプターの指導を受ける。3回/月】	夜勤 【独り立ち】				
プリセプティ			入職3ヶ月振り回り		配属3ヶ月振り回り			配属6ヶ月振り回り				1年後振り回り
プリセプター					配属3ヶ月振り回り			配属6ヶ月振り回り				2年後振り回り
面接			面接			面接（看護部長）	中間目標面接					最終目標面接
成長段階指導方法	ステップⅠ		ステップⅡ		ステップⅢ							
	成長段階の3ステップ	手順によって仕事を進める力を養う段階		ミスをなくし安全・確実に仕事を進める力を養う段階			アセスメントしながら仕事を進める力を養う段階					
	成長段階ごとの指導	教える指導		考えさせる指導			気づかせる指導					
	指導方法の具体例	教える指導の進め方		考える指導の進め方			気づかせる指導の進め方					